

【評価実施概要】

事業所番号	0172901308		
法人名	有限会社 旭川ケアサービス夢		
事業所名	グループホーム夢		
所在地	旭川市春光台四条9丁目4-3 (電話)0166-55-2556		
評価機関名	特定非営利法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年 6月27日	評価確定日	平成20年8月7日

【情報提供票より】(平成20年 5月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 9月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤13人, 非常勤 5人, 常勤換算10.32人	

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル準耐火 造り		
	2階建ての	1 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	48,000 ~ 53,000 円	
敷金	(有) (95,000円)		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,380 円			

(4) 利用者の概要(平成20年5月26日現在)

利用者人数	18 名	男性	12 名	女性	6 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 74.22 歳	最低	62 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	並木通りクリニック、相川記念病院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅地や福祉施設が隣接、閑静で自然豊かな場所に立地し、広い敷地を活用したゆったりとした造りで、木目調の家庭的な雰囲気を感じられる施設である。共有スペースは吹き抜けで自然の日差しが差し込み、開放感のある場所となっており、入居者は思い思いの場所でゆったりと過ごしている。スタッフは、「理念」に基づき、「その人らしさ大切に」サービスを提供している。施設周囲は、木々が残り自然環境に恵まれていて、畑作りや外気浴などが楽しめる。看護職員が配置され、協力医療機関との連携が図られ、認知症と共に精神疾患を有する利用者が多いが、様々な状況、状態の利用者を積極的に受け入れている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回、家庭的な陶器の食器の使用を提案があり、スタッフ間で検討の結果、障害があっても配膳、下膳を役割として行なえる事を重視し、現在も軽量の食器を使用している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、スタッフ全員で話し合い、管理者が評価票をまとめた。今回の自己評価で、普段の暮らしぶりを家族へお知らせする方法の検討、内服薬の知識と症状の観察方法について理解を深めていくことを、取り組んでいこうと考えている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	二ヶ月に一度、運営推進会議を開催している。意見交換の場として活用し、出された意見を参考にしてサービス提供できるように心がけている。また、反省点などがあれば改善できるように話し合っている。運営推進会議、家族会、行事を、同一日に実施し、地域協力や家族参加が、双方向かつ一体的におこなわれている。地区の包括支援センター主催の会議や研修会に出席し、地域の課題について検討している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	受診結果や病状の変化は速やかに連絡を行ない、面会時には普段の暮らしぶりを伝えている。預かり金出納は、毎月領収書と支出状況を報告している。苦情対応の方法を取り決めてしており、苦情申し立て窓口の設置、受けた相談内容については、迅速に対応できるように心がけている。意見箱の設置、家族会の開催など、家族の意見を大切にしようと努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しており、地域の夏祭りなど町内行事に職員や利用者が参加している。ハンドベルの演奏会など、施設のイベントの際には、地域の人々にお知らせし、一緒に楽しんでもらっている。住宅地とは少し離れた立地条件であるが、地域交流にも力を入れようと努めている。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「常に自由で一人ひとりのペースに合った家庭的な雰囲気の中、その人の願いを取り入れ、支えあい、認め合い、家族とともに安心できる生活を提供します」という理念をつくり上げている。		地域密着型サービスとして「地域の中で、その人らしく生活することを支えるケア」を、理念の中に含め検討していくことが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は見やすい場所に掲示し、日々行なってケアの中で実践できるよう話し合いをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、地域の夏祭りなど町内行事に参加したり、施設のイベントの際に地域の人々にお知らせし、参加してもらっている。		地域のイベントへの参加だけでなく、地域の一人として町内会活動に参加すると、さらに良くなる。広報誌の発行を検討中とのことでしたので、町内の回覧板を活用して、ホームの様子を知っていただくことで地域との協力関係を築ききっかけになる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、スタッフ全員で話し合い、管理者が評価票をまとめている。前回、家庭的な陶器の食器の使用の提案があり、スタッフ間で検討の結果、障害があっても配膳、下膳を役割としておこなえる事を重視し、現在も軽量の食器を使用している。今回の自己評価で、家族への報告、服薬支援について取り組もうと考えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	月に二回のペースで運営推進会議を開催している。意見交換の場として活用し、出された意見を参考にしてサービス提供できるように心がけている。また、反省点などがあれば改善できるように話し合っている。運営推進会議、家族会、行事を、同一日に実施し、地域協力や家族参加が、双方向かつ一体的に行なわれている。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市町村がおこなう研修会などに参加、疑問点はこちらで判断することなく、市町村に確認するなどして連携を図り、サービスの向上に取り組んでいる。地区の包括支援センター主催の会議に出席し、地域の課題について検討している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	受診結果や病状に変化がある時は、速やかに連絡を行なっている。家族連絡が必要な際や来所時には、なるべく本人の状態を伝えるようにしている。預かり金出納は、毎月領収書と支出状況を報告している。		広報紙、写真などを活用して、普段の暮らしぶりをお知らせすると、一層良くなる。
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	苦情対応の方法を取り決めている。苦情申し立て窓口の設置、受けた相談内容においては、迅速に対応できるように心がけている。		意見箱をロビー中央に設置していますが、投函しやすさを考慮して、設置場所を検討されると、一層良くなる。
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の面接時には、離職することは利用者へのダメージが大きいため、長期的に働けることを前提に面接、採用を行なっている。また、やむを得ず離職する際には、利用者のダメージが最小限で済むようにケアにあたっている。異動があった際には、口頭で家族に説明している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	勉強会の開催、施設内・外の研修への参加を行ない、よいところを吸収できるよう参加者はレポートを提出するなどして、他の職員も学べるようにしている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	外部研修などに積極的に参加し、また、協力関係にある介護サービス事業所へ研修に行き、サービスの質の向上に努めている。		他のグループホームを見学に行き、工夫していること、力を入れて取り組んでいること、施設の特徴など、スタッフ間で検討されると、一層良くなる。
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前に施設内見学の時間を十分に取り、場の雰囲気に慣れていただくことから始め、状況によっては体験入居も行なっている。本人や家族に、安心して、納得いただいた上でのサービス提供を心がけている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	毎日を共にする家族と考え、一方的に意見を言うのではなく、互いのことを考え、話し合い、理解しあえるよう特に入浴や散歩の支援をしている。野菜の育て方、物を大切にすることなど教えてもらっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご家族の面会時や、本人の暮らしぶりから、スタッフ間で話し合いながら、思いや意向を汲み取ってる。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>情報収集と課題の分析を行ない、スタッフ間で話し合いながら、ケアプランを作成している。新たに確認された課題については、十分打ち合わせを行ない、統一された支援や対応ができるように計画を立てている。医療機関との連携を図るため、排泄状況、睡眠状況、不穏・興奮の頻度など、詳細に申し送りや記録の管理をしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>計画の実施状況と、評価を踏まえて、計画の見直しを行なっている。3ヶ月ごとに再計画することを基本として、状態の変化により、計画を見直している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院や外出支援など、家族の協力が困難なことが多く、施設で対応している。買い物や、お花見レク、理美容など、本人の希望に応じて対応している。帰宅願望が落ち着かない場合など、ご家族に宿泊していただき、利用者の気持ちを落ち着かせるなど、状況に応じた対応をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	原則、かかりつけ医に通院している。日常の状態を把握し月2回の定期受診に、健康状態を報告できるような記録に基づき、健康管理、医師の指示による状態観察を行なっている。協力医療機関では、訪問診療や訪問看護の協力をしてくれている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナル対応指針を説明し、同意を得ている。家族の説明、スタッフの介護方針を統一し、医療機関との連携をとりながら、いずれもきちんとした連絡が届くように情報提供をしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	契約書の18条で秘密保持を規定している。個人情報使用の同意を得ている。一人ひとりいかなる場面でも尊重した言動や態度で支援ができるように心がけている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	テレビや好きな音楽を楽しんでいる。カラオケ、入浴の希望時間や散歩の支援、半日外で気ままに過ごされる方、喫煙なども希望に応じ最後まで安全に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ジャガイモやとうきびなど、野菜作りを行ない、収穫や調理を楽しんでいる。盛り付けや、配膳、下膳など、できることは一緒に行なっている。一人ひとりの好み、麺類を食べない方、パンを食べない方など、情報を職員が共有し、別献立で対応したり、少食の方にはおにぎりに対応するなど工夫をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に月曜日と木曜日を入浴日とし、受診や用事を最小限にするべく避け、一日ゆっくり時間に余裕を持ち、安全に事故のないように支援している。一人ひとりの好みで温泉のような外の景色を楽しめる大きなお風呂か、プライバシーに配慮した一人用に家庭と同じようなお風呂かを選んでもらい入浴を楽しまれている。		希望により入浴可能としているが、週二回の入浴設定は最低基準であり、これから気候も暑くなることから、入浴回数の検討をされると、さらに良くなる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や洗濯物干し、洗濯物たたみ、食事の片付け、レクリエーション、キャッチボール、カラオケ、畑仕事や散歩、花札などの支援をしている。通院先での書道クラブへの参加、パソコンを楽しまれている方がいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人からの希望により、外気浴や散歩などの支援は随時行なっている。おやつや衣料品などの買い物、理美容、花畑への外出などの支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、防犯上20時から7時までとしている。玄関のドアを開けるとチャイムで把握できるようになっており、必要以外は鍵をかけないようにしている。		今後、警察とも協力し、無断外出による事故防止、安全対策について打ち合わせをすることを検討している。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防計画を立案し、消防署の協力を得ながら、定期的に避難訓練を実施している。</p>		<p>今後、地域（近隣）の協力体制がつけられ、今以上に安心感が高まる。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事、水分摂取量は毎食事に確認している。一日の全体量を見て個別に必要量を確認している。協力関係にある介護サービス事業所の栄養士に献立を確認してもらっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一般家庭に近いような環境づくりをしている。季節感を出せるような飾りつけなども行ない、よりいっそう味わっていただけるような工夫をしている。</p>		<p>難聴の利用者がおり、テレビの音が大きくなっていったが、食事の時間は消すなど、状況に応じた配慮があっても良いと思いました。季節感を出す飾りは、時期を過ぎたものがあり、逆に季節感を損なう可能性があるため、時期に合わせた変更が必要である。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>基本的に本人が過ごしやすい環境を考慮し、使い慣れた物を持参するよう家族にも働きかけている。仏壇、写真、家具など、思い出の品々が持ち込まれ、落ち着ける居室になっている。</p>		

 は、重点項目。